

# 発信模索するキリスト教界

# こころ

キリスト教を取り上げた新書や雑誌が話題になる中、キリスト教界の若手からメディアを用いた発信の在り方を模索する動きが活発化し始めた。

# ネットやイベント駆使

9月20日、東京都台東区で異色のフリーマーケットが開かれた。書籍や同人誌、漫画、アニメの制服少女が描かれたポスターには「興せ、ぼくら」の文字が。今年で2回目の「いのり☆フェスティバル2012」だ。コスプレ女性、動物の着ぐるみなど、キリスト教への関心が高まっている。ただ、キリスト教界から一般に向けた発信は少ない、と松谷さん。岡山市出身。大学卒業後に就職したものの牧師になる夢を諦めきれず、米国で神学修士に。現在は兵庫県尼崎市の武庫之荘教会(日本キリスト改革長老)に所属する。

「教会はハードルが高いけれど、イベントだったら行ける。そんな思いを持つ多くの人に向けて企画した」

超教派の集まりが少ないキリスト教界での出会いの場、雑誌の特集も好調な売れ行きを

示すなど、キリスト教への関心を語る姿は一見、アニメ好きが高まっている。ただ、キリスト教界から一般に向けた発信は少ない、と松谷さん。岡山市出身。大学卒業後に就職したものの牧師になる夢を諦めきれず、米国で神学修士に。現在は兵庫県尼崎市の武庫之荘教会(日本キリスト改革長老)に所属する。

月1回掲載

れたすらん

デジタル化して公共財とし、ネットワーク社会における教会の在り方を模索するのが目的。「社会に対する透明性を確保し、キリスト教の『リアル』がここへ来れば分かるようにしたい」

# フリーペーパー発行も

さまざまな教会の声をフリーペーパーという形で全国に届けようと奮闘する牧師もいる。北海道士別市にある日本基督教団士別教会の難波真実さん(30)。タイトルは聖書から採った「れたすらん(Ie t us run)。「地方の教会は厳しい。だが、一緒にやることで何かが見える。そんな思いで名付けた」

神戸市出身。教会への支援に対する活動報告がきっかけで昨年2月に創刊。教派を問わず、全国から寄せられた紹介やニュースを掲載する。「他の教会を知る機会がなかったが、これで分かった」などの好評を得た。

編集から広告集めまで基本的に1人。財政も苦しい。負担軽減のため冊子をやめ、ページをとり込まない形に変えた。教会の今の姿を伝えたい。教会の今の姿を伝えたい。より多くの人に声を届けたい。そんな思いを込めて活動を続けている。(共同通信編集委員・西出勇志、写真も)



聖書をテーマにしたトレーディングカードのゲームで、参加者に対しての戦術を説明する松谷信司「Ministry」編集長。トレカは今後発売の予定という「いのり☆フェスティバル2012」



鼎談に登場した波勢邦生さん(左)。他の登壇者とともに、オタク文化と宗教について語り合った「いのり☆フェスティバル2012」

さらにキリスト教に関心のある全ての人々が一堂に会する場にした、との思いがある。編集長を務める「Ministry」も教会向け雑誌と教会向け雑誌とを呼び掛け、教義からプライベートまで千以上の問いに誌で、特別企画では聖書を主眼としたトレーディングカードの生放送でキリスト教の講義も行う。

今年夏、キリスト教ネットメディア研究会を立ち上げた。埋もれゆく教会資料をデジタル化したいという。

## オタクと信仰

「いのり☆フェスティバル2012」で行われた鼎談「カミとホトケと、時々、オタク」。評論家岡田斗司夫さん、曹洞宗僧侶吉村昇洋さんとともに、キリスト教の立場から登壇したのは波勢邦生さん(30)。派手なTシャツで漫



発行するフリーペーパー「れたすらん」を前に、今後の編集方針などを語る難波真実牧師。北海道士別市の士別教会

# 正常という神話

10

「夕方、会社の近くーマンだった。寝てもの寺の鐘が鳴ると胸が仕事、覚めても仕事。締め上げられるように余暇も、家族だんらん不安になるのです」ともなくひたすら会社の

## 不安は「あるがまま」に

言ってAさんは受診した。ために身を奉じていた。あれをやったか、

むしろ取り除こうといふ気持ちを持って「あつてもらった。奥さん

不安は足の裏に刺さった棘のようなもので、どんなに小さなものでも、やりきれない不安につながり、取り除こうとする

と付き合う糸口がある社を体から引き離して、もらった。「こんな人

に「うちもさっちもいかなくなくなる時ボーボーと燃え上がる。昔、自分自身この不安の虫に憑りつかれた精神科医がいた。森田療法を考えた森田正馬

「おんぶお化けのよ」とも「知って」もらっ

「おんぶお化けのよ」とも「知って」もらっ

ことを恐れるエネルギーがあれば嫌われることを恐れないエネルギーもあるはずである。その転換

「おんぶお化けのよ」とも「知って」もらっ

Aさんは猛烈サラリは抱えている。それが、

## 受け入れで脱却の可能性

日蓮宗務院伝道部は、開催。コンペ実行委員会が、地域社会のために寺院を活用するアイデアを一般から募集している。コンペよりもはるかに多く、7万7千あるといわれるお寺。ここを舞台として地域のコミュニケーションを元気にしたいというのが企画意図で、今年で2回目の

### お寺活用のアイデア募集

「お寺活用のアイデア募集」は、今年で2回目の募集が、

### 落語



### 大往生

「落語で大往生」

亀井鑛著

### 名作題材に教えを説く

油」から、自分自身を深く見つめることの大切さを強調。「まんじゅうこわい」からは欲望の果てしなさを説き、その延長線上に心の安らぎはないと論ず。

(興山舎・1785円)